

環境活動レポート

[活動期間：2016年7月~2017年6月]



発行日 2017年11月16日

改定日 2017年12月18日

株式会社 愛康

— 目 次 —

	ページ
目次	1
1. 事業活動概要	2
2. E A 2 1 推進組織と役割	3
3. 環境方針	4
4. 1 環境目標と実績	
(1) 環境目標(中長期計画)	5
(2) 活動期間の目標と実績(結果)	6
活動期間：2016年7月～2017年6月	
4. 2 環境目標と実績(グリーン購入・環境配慮)	
(1) 環境目標(中長期計画)	7
(2) 活動期間の目標と実績(結果)	7
活動期間：2016年7月～2017年6月	
5. 環境法規等の遵守状況の確認及び違反、訴訟の有無	8
6. 環境活動計画と実施状況	
(1) 取組内容と実施状況	9~10
(2) 次年度取組内容	10~11
7. 活動実績(結果)の評価と見直し	
(1) 取組実績(結果)の評価と考察	12~13
(2) 総合評価と見直し(代表者)	14

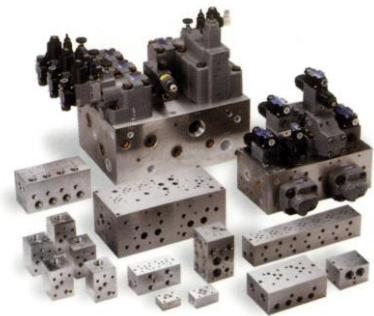
以上

1. 事業活動概要

- (1) 事業者 株式会社 愛康
(2) 代表者 代表取締役 伊藤 碩康
(3) 所在地 〒485-0051
愛知県小牧市下小針中島一丁目7番地
電話番号 0568-42-0700
ファクス 0568-42-0706

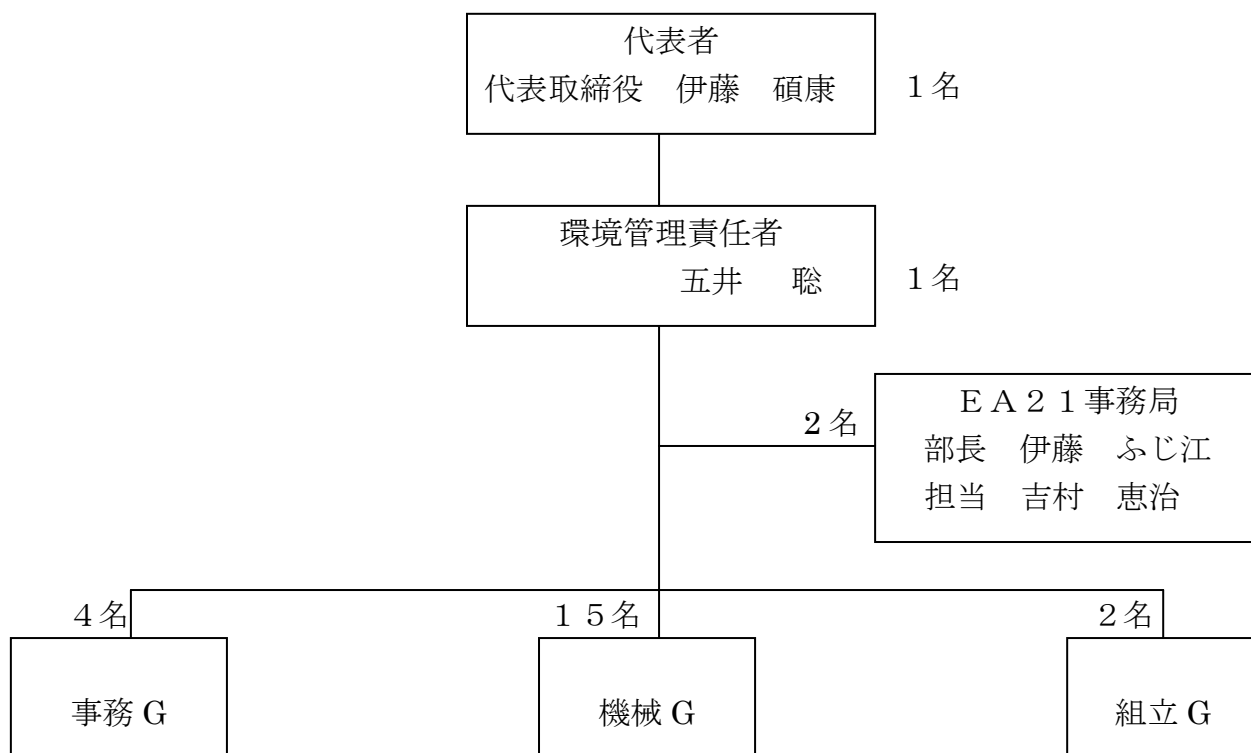
- (4) 環境管理責任者
環境管理責任者 五井 聡
E A 2 1 事務局担当 吉村 恵治
電話番号 0568-42-0700
ファクス 0568-42-0706
E メール info@we-love-aico.jp

- (5) 事業内容
- ・油圧マニホールドブロック製造
 - ・油圧装置製造
 - ・船舶用エンジン向け燃料供給装置
部品製造(機械加工)



- (6) 事業規模
資本金 3,000万円
従業員 25人(2017年6月30日現在)
敷地面積 3,687㎡
- (7) 事業年度 7月1日～翌年6月30日(期日)
- (8) 登録範囲
登録組織 (株) 愛康
活動内容 事業内容と同じ

2. EA21(エコアクション21)推進組織と役割



担当	業務分担
代表者 (代表取締役)	環境方針の作成、システム全体の評価及び見直し、 資源(人・設備・資金)の準備、環境管理責任者の任命 環境活動レポートの承認
環境管理 責任者	システムの確認・維持・運用の責任者、環境活動レポート確認 システムの実績確認・代表者への報告、 外部コミュニケーションの窓口担当、緊急事態の準備・対応
EA21 事務局	環境管理責任者の補佐、全体計画の立案、文書の作成・管理 環境活動計画の実績集計、環境活動レポートの作成 システム(EA21)の教育、環境関連法規の最新版管理 SDS管理
事務G	電力・化石燃料省資源削減、水使用削減、一般廃棄物(コピー紙裏紙活用等)、グリーン購入促進、環境に配慮した製品設計/開発
機械G	電力・化石燃料省資源削減、水使用削減、P R T R化学物質使用削減、 産業廃棄物削減、一般産業廃棄物削減
組立G	電力・化石燃料省資源削減、水使用削減、P R T R化学物質使用削減 産業廃棄物削減、一般産業廃棄物削減

3. 環境方針

環境に与える影響を配慮し、環境保全を最重要課題として環境負荷の低減を会社方針に掲げ、事業活動を通じ社会貢献する。

1. エネルギー、水および化学物質使用量の低減対策に取り組むと共に、二酸化炭素及び廃棄物排出量の削減に努めます。
2. 購入品を見直し、グリーン購入を推進します。
3. 環境に配慮した製作及び購入資材品等を製造工程で使用します。
4. 当社の事業活動に関連する環境法規を遵守します。
5. 環境活動方針を全従業員に周知徹底します。
6. 環境活動レポートを社内外に公表します。

2014年 7月 1日 宣言

2016年 10月 25日 改定

株式会社 愛康

代表取締役 伊藤 碩康

4. 1 環境目標と実績

(1) 環境目標(中長期目標) 2016年度：2016年7月1日~2017年6月30日

環境目標 削減項目	単位	2015年度 実績	2016年度 計画	2017年度 計画	2018年度 計画
エネルギー 使用量	指標 (2015比)	20,519 (1.000)	23,925 (1.166)	22,437 (1.093)	21,097 (1.028)
	MJ	9,787,495	10,766,245	10,657,495	10,548,745
電力	指標	2,012	2,346	2,200	2,069
	kWh	959,647	1,055,612	1,044,949	1,034,286
LPG	指標	0.126	0.147	0.138	0.129
	m ³	60.0	66.0	65.3	64.7
ガソリン	指標	7,843	9,415	8,576	8,064
	L	3,741	4,115	4,074	4,032
軽油	指標	1,818	2,119	1,988	1,869
	L	867	954	944	934
灯油	指標	10,589	12,347	11,579	10,888
	L	5,051	5,556	5,500	5,444
二酸化炭素 排出量	指標 (2015比)	1,082 (1.000)	1,262 (1.166)	1,183 (1.093)	1,113 (1.028)
	kg-CO ₂	516,219	567,841	562,105	556,369
廃棄物 排出量	指標 (2015比)	0.084 (1.000)	0.099 (1.166)	0.092 (1.093)	0.087 (1.028)
	t	40.3	44.3	43.9	43.4
水使用量	指標 (2015比)	1.143 (1.000)	1.332 (1.166)	1.249 (1.093)	1.175 (1.028)
	m ³	545	600	593	587
化学物質 使用量	指標 (2015比)	1.435 (1.000)	1.673 (1.166)	1.569 (1.093)	1.476 (1.028)
	kg	685	753	745	738

1. 指標＝環境項目使用量・排出量／売上高(百万円)
2. 購入電力実排出係数(中部電力)＝0.000513 t-CO₂/kWh で計画する。
3. 廃棄物排出量には、有償リサイクル排出量は除外しています。
4. 2016年度以降の計画増は、大型機械1台増設を考慮しています。

(2) 活動期間の目標と実績(結果) 期間：2016年7月1日～2017年6月30日

環境目標 削減項目	単位	2015年度実績	2016年度計画	2016年度活動実績	
		2015年7月 ～ 2016年6月	2016年7月 ～ 2017年6月	2016年7月～ 2017年6月 【計画達成率】	達成 状況
エネルギー 使用量	指標 (2015比)	20,519 (1.000)	23,925 (1.166)	23,351 【102.5%】 (1.138)	○
	MJ	9,787,495	10,766,245	9,270,456	○
電力	指標	2,012	2,346	2,293 【102.3%】	○
	kWh	959,647	1,055,612	910,301	○
LPG	指標	0.126	0.147	0.172 【85.3%】	×
	m ³	60.0	66.0	68.3	△
ガソリン	指標	7,843	9,415	5,773 【158.4%】	○
	L	3,741	4,115	2,292	○
軽油	指標	1,818	2,119	2,956 【71.7%】	×
	L	867	954	1,174	×
灯油	指標	10,589	12,347	13,106 【94.2%】	×
	L	5,051	5,556	5,203	○
二酸化炭素 排出量	指標 (2015比)	1,082 (1.000)	1,262 (1.166)	1,231 【102.5%】 (1.138)	○
	kg-CO ₂	516,219	567,841	488,777	○
廃棄物 排出量 (有償除外)	指標 (2015比)	0.084 (1.000)	0.099 (1.166)	0.103 【95.6%】 (1.219)	△
	t	40.3	44.3	40.9	○
水使用量 (指標)	指標 (2015比)	1.143 (1.000)	1.332 (1.166)	1.257 【106.0%】 (1.100)	○
	m ³	545	600	499	○
化学物質 使用量 (指標)	指標 (2015比)	1.435 (1.000)	1.673 (1.166)	1.688 【99.2%】 (1.176)	△
	kg	685	753	670	○

1. 計画に対する実績評価：○＝達成・△＝ほぼ達成 (-5%以内)・×＝未達
2. 軽油の未達は、社有車1台ディーゼル化の影響、ガソリンと合せ効果あり。

4. 2 環境目標と実績(グリーン購入・環境配慮)

1. グリーン購入は、主として事務用品の環境ラベル認定品・再生材料製品を原則全て購入し、品番を管理・統制する。
2. 自らが生産・販売・提供する製品及びサービスに関する環境配慮については、機械加工に使用する油脂類のPRTR物質をSDS管理し、含有品目目の削減数及び非含有品採用品目数を管理する。

(1) 環境目標(中長期目標)

環境目標 削減項目	数量	2015年度 実績	2016年度 計画	2017年度 計画	2018年度 計画
グリーン購入 (環境認定品等 の採用品番)	品番	50	48	46	44
環境配慮 (PRTR 含有削減・レス品採用)	品目	1	1	1	1
OA用紙 (購入枚数削減)	枚数	43,500	44,700	43,800	42,900

(2) 活動期間の目標と実績(結果)

環境目標 削減項目	数量	2015年度実績	2016年度計画	2016年活動実績	
		2015年7月 ～ 2016年6月	2016年7月 ～ 2017年6月	2016年7月 ～ 2017年6月	達成 状況
グリーン購入 (環境認定品等 の採用品番)	品番	50	48	40	○
環境配慮 (PRTR 含有削減・レス品採用)	品目	1	1	0	×
A用紙 (購入枚数削減)	枚数	(指標 91.2) 枚数 43,500	(指標 99.3) 枚数 44,700	(指標 110.8) 枚数 44,000	×

1. 計画に対する実績評価：○＝達成・△＝ほぼ達成 (-5%以内)・×＝未達
2. グリーン購入は、原則全てとし、今後は品目の統制に注力する。
3. PRTRレス品採用は、当期対象となる新規需要がありませんでした。

5. 環境法規等の遵守状況の確認及び違反、訴訟の有無

法規の名称	法規の基準	順守項目	確認
廃棄物 処理法	廃棄物収集・運搬・処理 業者との委託契約 マニフェスト(管理表)の 発行及び管理 マニフェスト(管理票) (A,B2,D,E)5年間保管 産業廃棄物管理票交付 等状況報告書提出 特別管理産業廃棄物発 生事業場設置報告書提出 県条例	委託契約書の入手と保管 廃棄物毎、処分事業所毎に 発行 A票(発行時)とB2、D、 E票(後日)入手 前年4月1日から3月31 日までに交付した産業廃棄 物管理票について6月30日 までに提出する。 特別管理産業廃棄物発生 事業場設置 特別管理産業廃棄物管理 責任者資格取得及び届出 現地確認	入手及び保管 1社2013.4.3更新 発行時確認 A、B2、D、E 票の照合確認し、5 年間保管 平成28年度分 2017.12.26提出 予定(愛知県) 2010.9.21提出 2011.1.20取得 2011.4.27提出 2016.11月確認済
騒音規制法	特定施設設置(空気圧縮機) 2台	特定施設設置届出書届出	2010.9.16届出 2010.9.28受理
振動規制法	特定施設設置(空気圧縮機) 2台	特定施設設置届出書届出	2010.9.16届出 2010.9.28受理
県民の生活 環境の保全 等に関する 条例 (愛知県条例)	事業者は、従業員に対し アイドリング・ストップす るよう指導しなければならない。	「エコドライブ10のすすめ」A4版を社有車運転席に 搭載し啓蒙。(実施継続) 従業員に同版を掲示、マイ カーに適用を推奨。	社有車運転席 確認 掲示板確認
*家電リサイクル法・自動車リサイクル法・の該当は、有りませんでした。 *フロン類排出抑制法は、回収破壊は該当無し、簡易点検は実施中です。			

当社は関連法規に関し関係当局よりの違反などの指摘及び近隣住民及び企業よりの訴訟及び苦情は、過去4年間ありませんでした。(2017年7月30日管理責任者評価)

6. 環境活動計画と実施状況

(1) 取組内容と実施状況 ○：良好 △：不十分 ×：未実施
 (*印は重点取組事項)

環境目標 取組項目	取組内容(2016年度)	取組担当	実施 状況
二酸化炭素 排出量削減・ エネルギー 使用量削減	水銀灯→LED化(第1,2機械工場) 完了	機械 G	○
	昼休み消灯・使用時のみ照灯(継続)	全担当	○
	*コンプレッサの稼働量の監視。	工場 G	△
	*同上のエア漏れ点検・フィルター清掃	工場 G	○
	空調機のフィルターの清掃(継続)	工場 G	○
	機械の効率稼働(夜間・休日稼働) 継続	工場 G	△
	*待機電力の見直し	機械 G	△
	熱発生源の異常個所点検・修理(継続)	組立 G	△
	扉電動遮断カーテン設置 完了	組立 G	○
	パソコン・コピー機の省電力設定(継続)	事務 G	○
	工場内自販機省エネ型に変更(継続)	全担当	○
	エアコン温度適正化継続(継続)	全担当	○
	工場温度の恒温温度設定確認(継続)	機械 G	△
	*冬季暖房機の(灯油)ムダ焚き撲滅	工場 G	△
社有車のエコ運転の励行(継続)	全担当	○	
廃棄物 排出量削減	ダンボール・緩衝材の梱包再利用(継続)	工場 G	○
	コピー紙の使用量削減(裏紙・縮小化印刷) 分別収集(継続)	事務 G 全担当	△ ○
	*機械設備の油漏れ防止(点検)継続	工場 G	△
	油脂類等の適正期間の見直し(継続)	工場 G	△
	*不良品を出さない(品質向上)継続	工場 G	△
水使用量 削減	節水励行(継続)	工場 G	△
	漏水点検→自動管理化を一部推進(継続)	機械 G	△
化学物質 使用量削減	油脂類の見直し(非P R T R含有品化)継続	工場 G	△
	油圧装置板金部品の再塗装(手直し)撲滅	組立 G	○
	シンナー削減(漏れ防止) 完了	工場 G	○
	切削油水性化(発火防止も含む) 施工完了 (効果継続)	機械 G	△

※工場 G は、機械 G と組立 G を合わせたグループです。

環境目標 取組項目	取組内容(2016年度)	取組担当	実施 状況
グリーン 購入	事務用品の購入(継続) (環境ラベル認定品・再生材料製品等)	事務G	○
OA用紙 購入	裏紙のコピー活用などの徹底(継続) (生産増に伴う改善対策:ペーパーレス化)	事務G	△
製品及びサ ービスに関 する環境配 慮	PRTR 物質レス品、低減品の採用 0 SDS による社内に情報提供	機械G 事務局	△ △
環境コミュ ニケーショ ンの実施	近隣住民・企業からの訴訟・苦情なし(窓口) 環境活動レポートを社内外に公表する。	管理責任者 代表者	○ ○
環境関連法 規等の取り まとめ	環境関連法規の最新版管理を7月実施する 産業廃棄物管理票交付等状況報告書届出等	事務局	○ △
環境の緊急 事態への準 備・対応	緊急地震速報機(2011年度)の設置・メール の速報情報利用の周知(継続) 「緊急事態の想定(改定版)」にて解説・説明 緊急地震速報機の機能確認実施(継続)	管理責任者	○

(2) 次年度取組内容 *次年度重点取組項目

担当	取組項目
代表者	*工場生産品目の明確化(新商品の別会社化)に伴う環境品目の削減効果創出(継続)
環境管理 責任者	近隣住民(外部)からの苦情等の受付。(窓口) *電力使用量を中心とした総エネルギーの抑制(指標ベース)
事務局	油脂、塗料等をSDSにより化学物質を把握する。(継続) 環境関連法規の遵守状況の確認をする。(継続)
事務G	*5Sの推進 グリーン購入(事務用品)の優先徹底と品目統制。 共有ネットワークによる情報開示でコピー紙購入抑制(継続) 昼休消灯、パソコン・コピー機の省電設定、節電/節水シール貼付 (各種機器)実施、エアコン28℃・21℃(目安)を維持する。(継続)

担当	取組項目
機械G	<ul style="list-style-type: none"> * 5 S の推進 機械の効率稼働(夜間・休日無人稼働：継続) * 不良削減の取組(不十分：継続) * 待機電力の見直し ダンボール・緩衝材の再利用の梱包(継続) 機械設備の油漏れ点検の実施(継続) * 油脂類の適正期間の見直し(継続) * 切削液の給水自動管理化&漏水点検(継続) 昼休み消灯・使用時点灯の励行(継続) 空調機のフィルター清掃(継続) 熱発生源の異常個所の点検・修復(継続) 新規採用の化学物質(溶剤等)の非 PRTR 品の採用化 工場温度の恒温温度設定確認(継続) * 新設コンプレサー（高効率型）の稼働優先化実施。 コンプレサーの稼働量(過負荷運転時間)の監視 同上のエア漏れ点検、フィルターの清掃の実施（継続） * 冬季暖房機(灯油)ムダ焚き撲滅(継続)
組立G	<ul style="list-style-type: none"> * 5 S の推進 * 不良削減の取組(不十分：継続) 油圧装置板金部品等の再塗装撲滅 支給品塗料の管理方法改善 * 冬季暖房機(灯油)ムダ焚き撲滅(継続)
全社 (全担当G)	<ul style="list-style-type: none"> 昼休み消灯・使用時点灯の励行(継続) 節水励行(継続) * 100km以上遠出は、極力公共交通機関の利用とする。

7. 活動実績(結果)の評価と見直し

(1) 取組実績(結果)の評価と考察

◎：指標、実績数量共に達成 ○：指標・実績数量のどちらかが未達
 ×：指標、実績数量共に未達

環境目標取組項目	評価		考察
エネルギー使用量	◎	使用量、指標共に、目標達成しました。	使用量、指標とも売上高が計画対比 88.2%と大幅減少したが、目標達成。
電 力	◎	使用量、指標共に、目標達成しました。	使用量、指標とも売上高が計画対比 88.2%と大幅減少したが、目標達成。
L P G	×	使用量、指標共に未達 使用量：96.6% 指標：85.3%でした。	2017年5、6月に機械部品洗浄、設備清掃部品増による工場給湯器の使用増。
ガソリン	◎	使用量、指標共に、目標達成しました。	公共機関活用及び役員車の1台をディーゼル車に変更。
軽 油	×	使用量、指標共に未達 使用量：81.3% 指標：71.7%でした。	同上の影響と据付け作業等、遠方工事が増加。
灯 油	○	使用量は、目標達成しましたが、指標：94.2%で未達でした。	異常天候による冬季の冷え込み期間の長期化による暖房用が増加。
*二酸化炭素 排出量	◎	使用量、指標共に、目標達成しました。	使用量、指標とも売上高が計画対比 88.2%と大幅減少したが、目標達成。
*廃棄物排出量	○	使用量は、目標達成しましたが、指標：95.6%で若干未達しました。	2017年5月に水溶性クーラント液の清浄化&長寿命化の改造に伴う液交換による廃棄増、来期に効果確認。
水使用量	◎	使用量、指標共に、目標達成しました。	使用量、指標とも売上高が計画対比 88.2%と大幅減少したが、目標達成。

* 有償リサイクル排出量は、除外しています。

環境目標取組項目	評価		考察
化学物質使用量 (PRTR 物質)	○	使用量は、目標達成しましたが、指標：99.2%で若干未達した。	使用量は、売上高が計画対比88.2%と大幅減少したため、指標が若干目標未達。
グリーン購入 (事務用品等の環境 認定品新採用品番数)	◎	目標品目数を達成できました。(指標評価は含まない。)	引続き取組めます。
環境配慮 (PRTR含有削減・レス品採用)	×	レス品採用無し。 (当期は対象需要が無かった。)	活動が不十分、新規手配時に毎回確認し、引続き取組めます。
OA用紙(コピー 紙)(購入枚数削減)	○	使用量は、目標達成しましたが、指標：89.6%で未達でした。	社内連絡網のネットワーク化等の活用し、引続き取組めます。
環境コミュニケーション	◎	近隣住民及び企業の苦情及び要望は、0件でした。 「環境活動レポート」社内外に公表した。	引続き取組めます。
環境関連法規の取りまとめ	◎	関連法規の最新版及び遵守状況をチェックする。	「環境関連法規」の見直しを実施する。 (2017年6月実施)
環境の緊急事態への準備・対応	◎	地震速報機の設置・地震メール速報の活用 「緊急事態の想定」を改定する。	新規課題の確認等、引続き取組めます。

* 社内設備機械塗装の化学物質使用量(塗料)は、PRTR物質から除外しています。

(2) 総合評価と見直し(代表者)

総合評価と見直し(代表者)		作成者	伊藤 碩康
		作成月日	2017年10月10日
総合評価 (コメント)			
<p>当初計画した顧客動向に対し想定以上に悪化した業績結果となりました。</p> <p>業績は、売上が落ち込む中、各種環境項目は計画段階で設備増の影響を折り込み、主要な使用量は、ほぼ計画を達成しましたが、指標の評価では、一部未達となる、結果となりました。</p> <p>これは、売上が計画比 88.2%と急激な落ち込みに対し、それに見合った環境項目の削減挽回策が不十分だったことに起因しました。</p> <p>また、新商品の別会社化に伴う、基本データの整合性に不備がありました。今後、使用量の見直し、目標値の変更が必要になっているため、来年度(2017年度)は売上の基準を明確にして、活動及び評価を進めます。</p> <p>そのために、前年度改善し効果未確認項目、水溶性クーラント液の長寿命化、設備の漏水点検の自動管理化、コンプレッサーの高効率品への置換え等の作業環境を整備し、環境負荷を削減します。</p> <p>特に品質問題は真因の究明と再発防止の徹底をはかり不良のゼロ化を目指し環境負荷のムダを継続的に削減します。</p> <p>(各人の品質最優先意識、責任所在の明確化、自工程完結体制で不良を撲滅)</p> <p><注意点></p> <ul style="list-style-type: none"> ・新規設備の稼動予定を想定した環境項目の計画変更。 ・5S活動推進による一時的廃棄物の増加の別評価。 			
見直し項目	変更の有無	変更「有」の指示事項	
環境方針	無		
推進組織	無		
環境目標	有	2016年度実績を基準に目標を再設定すること	
活動計画	有	成果項目は継続し、是正項目の対策を実施する 事業内容の変化に合わせ、目標値を変更する。	
外部対応	無		
緊急対応	無		
その他	無		

2017年 10月 10日評価
株式会社 愛康
代表取締役 伊藤 碩康

以上